

発行:2025 年 8 月 22 日

ファルケンモータースポーツチームが「ニュルブルクリンク耐久シリーズ」 第 6 戦で優勝。今季 3 勝目をワンツーフィニッシュで飾る

住友ゴムグループのファルケンタイヤヨーロッパは、8 月 16 日にドイツで開催された「ニュルブルクリンク耐久シリーズ(正式名称:NÜRBURGRING LANGSTRECKEN SERIE)」第 6 戦、6 時間耐久レースの最高峰クラスである SP9 PRO に参戦し、「Porsche 911 GT3R」3 号車が開幕戦、第 2 戦に続く 3 勝目をあげました。



3 号車(右)と 4 号車(左)のレースの様子



ワンツーフィニッシュを決め、表彰台で喜ぶドライバー
(右から、優勝したスヴェン・ミュラー選手/クラウス・バクラー選手、
2 位となったデニス・マーシャル選手/ニコ・メンツェル選手)

6 月に行われた 24 時間レースでは悲運のダブルリタイヤとなったファルケンモータースポーツチームは、ファルケンカラーに彩られた 2 台のポルシェを再び万全な状態に整え、メンバー全員が前を向いてこの第 6 戦に臨みました。

ワンデーレースとなった第 6 戦は朝から深い霧に覆われ、全体のスケジュールが大幅に遅延。予選は短縮され、場所によってウェット路面が残るコンディションとなりました。4 号車のニコ・メンツェル選手はニュルブルクリンク向けに開発されたワイドレンジスリックタイヤのパフォーマンスをしっかりと引き出し、会心の走りでポールポジションを獲得。僚友の 3 号車は 5 位につけました。

午後の決勝レースは、霧の影響で 6 時間から 4 時間半に短縮されました。ファルケンモータースポーツチームの 2 台は好スタートを切ります。3 号車スタートドライバーのスヴェン・ミュラー選手は好ダッシュをみせ、1 周目のグランプリコースで 2 台を抜いて 3 番手に上がり、さらに順位を上げて序盤でワンツー体制を構築します。その後、ファルケンポルシェの 2 台による激しく、かつクリーンな先頭争いが展開され、観客を大いに沸かせました。

3 号車と 4 号車はピットインのタイミングで順位を入れ替えつつも、最後までファルケンポルシェの 2 台がレースをリード。3 号車がチームにとっての今季 3 勝目、さらに 4 号車とのワンツーフィニッシュを飾りました。優勝した 3 号車と 3 位の車両とは 4 分半の大差となり、ファルケンタイヤの高いパフォーマンスと信頼性を改めて証明しました。

当社では、モータースポーツ活動を研究開発の場として積極的に活用しています。ファルケンモータースポーツチームとの協業のもと、自動車の車輪速解析技術を応用した独自のセンサーレスのセンシング技術「センシングコア」の実証試験を、ニュルブルクリンク耐久シリーズにて実施しています。現在は、レース中のタイヤ内圧変化を早期に検知するシステムの開発に取り組んでいます。



■ニュルブルクリンク耐久シリーズ概要

ドイツのニュルブルクリンクを舞台に行われる全 8 戦の耐久レースシリーズです。年に 1 度だけ開催される 24 時間耐久レースとは異なり、各レース 4 時間から 6 時間で行われています。車両メーカーやタイヤメーカーは、24 時間レースでの勝利を目指すためのテストフィールドとしてこの「ニュルブルクリンク耐久シリーズ」を活用し、多くの有力チームが参戦しています。レースに使用されるコースは 24 時間耐久レースとほぼ同等の一周で約 25 km。約 170 のコーナー数に、高低差およそ 300m、コース幅は狭く、そして路面は波打ち滑りやすい極めて過酷なサーキットです。

以上

＜商品・イベントに関するお問い合わせ先＞

タイヤお客様相談室 TEL:0120-39-2788